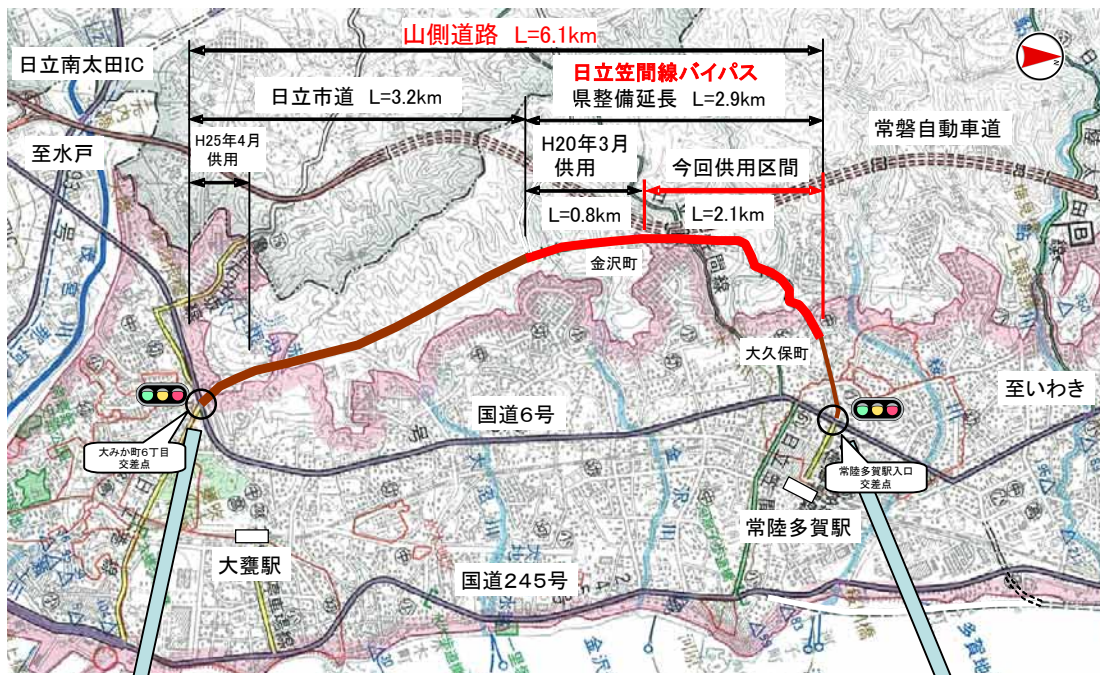


バイパスの開通により、国道6号の渋滞が緩和

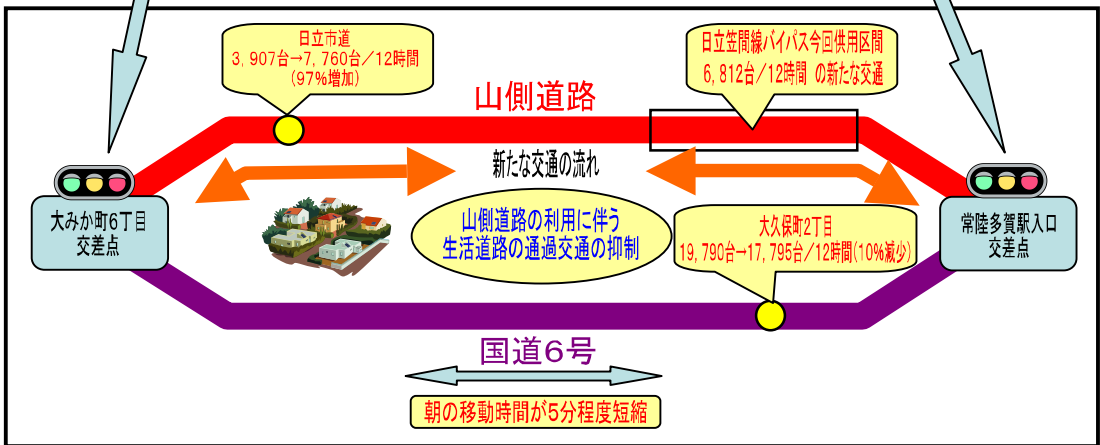
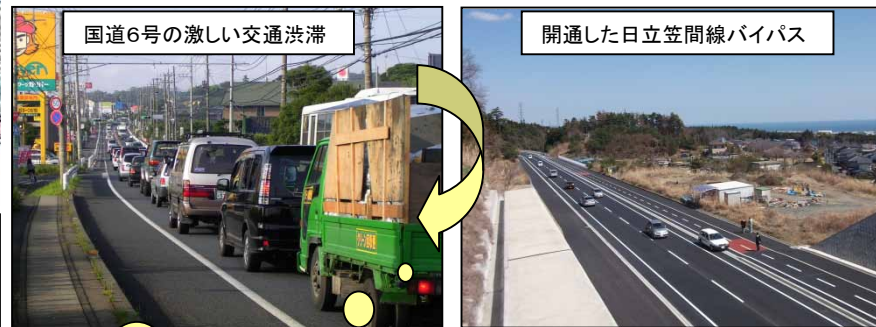
— 県道日立笠間線バイパス(通称:山側道路)の全線開通(日立市大久保町) —



【課題】
 ●日立市内は、南北の主要な幹線道路である国道6号や国道245号で日常的に激しい交通渋滞発生している状況であり、この渋滞を緩和することが課題となっています。

【整備効果】
 ●バイパスの開通で、国道6号の交通量が**最大で約1割減少**し、大みか町6丁目交差点から常陸多賀駅入口の交差点までの**移動時間が短縮**されました。また、**周辺的生活道路の通過交通も抑制**されました。

●さらに、このバイパスは、災害時に、国道6号とともに広域避難や支援物資の緊急輸送に資する道路になります。



交通の流れがバイパスに転換されたことで渋滞が緩和！

【事業概要】
 ○事業箇所：日立市大久保町～金沢町
 ○事業延長：L=2,900m
 [H20. 3. 30 一部開通 L= 830m]
 [H25. 3. 25 全線開通 L=2,070m]
 ○幅員：W=12～20m(2車線)
 (両側歩道、片側自転車道(一部))
 ○事業期間：平成5～24年度
 ○総事業費：約97億円(うち復興予算約3.4億円)